

蓄 - つぼみ -



2021.4.30

◆各種ガイダンスを終えて◆

さて、先々週は進路決定にむけて、それぞれの分野での初回ガイダンスが実施され、3年生の皆さんは大学や専門学校への進学、企業選びの方法や注意点を学びました。今年度は、コロナウィルス感染拡大防止のため、グーグルミートを活用し、各クラスで説明を聞くという、例年とは大きく異なる形での実施となりました。画面越しでの説明をメモを取りながら聞くという行為は、結構集中力を要するものです。しかし、進学後や就職後にオンライン授業やリモート会議等に参加することになる皆さんにとって、良い練習の機会になったのではないのでしょうか。

◆不易流行◆

「不易流行(ふえきりゅうこう)」という言葉があります。俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」で体得した概念と伝えられていますが、「不易」とはいつまでも変わらないこと、「流行」とは時代の流れに応じて変化することです。芭蕉は、「普遍的なことを知るのが句作の基本であり、時代の変化を知らないと陳腐な句しか作れなくなる」という意味で使っていました。

皆さんが自分の進路を実現するためには、いかに自覚を持って行動するか、が大切です。授業を大切に受ける、提出物は日頃から余裕を持って準備するなど、何気ない日々の積み重ねが大事な受験へとつながっていきます。まさに「不易」です。一方、ここ数年で「Web出願」や「オンライン面接」、「プレゼンテーション」など、時代の流れに即した新しい受験のスタイルが導入されています。また、昨年に引き続くコロナウィルスの影響でオープンキャンパスや体験授業の実施が制限されてしまうことが考えられます。(来校された保育系専門学校の先生から、現場実習日程が急に変更になったが、なんとか受け入れてもらえたとのことのお話も伺いました。)これが「流行」です。

予測できないことが次々と起こったり、今まで実施できていたことが難しくなったりする中で、不安や焦りが生じてしまうのは仕方がないことです。とはいえ、皆さんの人生は皆さんがしっかり自分の足で歩いていくものという事実には変わりはありません。志望校のホームページを確認するなどはもちろん、ニュースや新聞で世の中の情勢にもアンテナを張り、情報収集を積極的に行い、乗り越えていきましょう。

◆あいさつを大切に◆

今年度の通常授業がスタートし、一か月が過ぎようとしています。クラス担任や授業担当が変わり、皆さんの緊張も少しずつほぐれてきたころでしょうか。授業をする我々も、「さあて、どんなクラスなのかなあ。心機一転がんばろう。」という気持ちを胸に、教室へ向かったのですが、授業初めの挨拶を爽やかにしてくれるクラスが多く、大変うれしく感じました。また、先日来校した企業の方から、「進路室に来るまでに会おう生徒さん、皆が挨拶をしてくれました。素晴らしいですね〜。」とお褒めの言葉をいただきました。

挨拶は基本だ、とよく言われますが、挨拶を「する」「返す」ことは、まず目の前にいる人を受け入れよう、というサインになっている気がします。すれ違うほんの数秒の間にも、相手の気持ちを和らげることができているのです。社会人になると、まずはきちんと挨拶ができるかどうかで評価されたり、人間関係が広がったりする場面もありますので、今のうちから、相手や場に応じた挨拶が自然にできるイチカシ生であってほしいと思っています。

「挨拶は、人間らしく生きるための基本の心である」(野村克也『野村の流儀』より)

◆体調管理も立派な能力◆

「春眠暁を覚えず」という言葉を知っていますか？中国の唐の時代の詩人によって詠まれた詩の一節で、春の朝の心地よさを表現する言葉です。「春の夜は心地よいため朝になったことに気づかず、思わず眠り込んでしまう」という意味を持ちます。特にこの時期は気候が安定せず、入学や進級などで生活環境が変化することから体調を崩しやすくなります。夜にしっかりと睡眠をとり、朝はさわやかに目覚めて充実した学校生活を過ごしたいですね。

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる」(本田宗一郎 自動車会社ホンダの創業者)